

16番	浅井寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. ゴミは有料化ではなく、減量の取り組みの徹底を</p> <p><質問趣旨> 瀬戸市は「確実にゴミ減量を見込むことができる」としてゴミ処理費用の有料化を計画し、市民説明会・パブリックコメントを実施した。将来にわたって環境負荷を極力低減するためにも、数年来減り止まっている家庭ゴミの減量は喫緊の課題であるが、家庭ゴミの徹底した減量は、多くの市民の理解と協力を得てこそ実現できる。有料化という市民の負担感を「活用」するのではなく、市としてできる制度の見直し、補助の実施など、対策を強化しながら、市民に対してもこれまで以上の分別の徹底などゴミを減らす努力を求め、市全体で環境保</p>	<p>(1) 瀬戸市の家庭系ゴミの現状と減量の方向性</p> <p>(2) 新たな対策を含めた減量対策の徹底</p>	<p>①瀬戸市では、2019年度1人1日あたりの家庭系燃えるゴミの量が、尾張旭市、長久手市に比べ2割以上多く、2016年以降は増加傾向にある。この要因をどのように分析しているか伺う。</p> <p>②瀬戸市はこれまで様々なゴミ減量に取り組んできたが、中でも食品ロスの削減とミックスペーパーの分別に力を入れてきた。これらを含めて、現在までの取り組みについてどのように総括しているか伺う。</p> <p>③今後、ゴミ減量の目標を含めて、対策の方向性について伺う。</p> <p>①新たに、容器包装リサイクル法に基づき、容器包装プラスチック(容器プラ)を分別回収するがスケジュールと目的を伺う。</p> <p>②容器プラの回収によって、家庭系燃えるゴミの減量効果をどのように見込んでいるのか、また具体的な数値目標を設定しているのか伺う。</p> <p>③容器プラの分別回収開始後、有料化の実施予定まで約1年あるが、この間ミックスペーパーの回収、食品ロスの削減、生ごみの水切りなどの対策をどのように徹底するのか伺う。</p> <p>④これらを徹底することによって、減量効果をどのように見込むのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	浅井寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
全意識を醸成することに、よ り力を注ぐべきと考える。	<p>(3)有料化の目的「排出抑制 や再生利用の推進」について</p> <p>(4) 有料化の目的「公平性 の確保」について</p>	<p>①「資源を大切にし、環境を守る」などゴミ減量の本来の意義が市民の中に定着して いくことが、ゴミ減量の原動力と考える。有料化という市民の負担感を利用して ゴミ減量を推進するというやり方では、市民の前向きな行動意欲を引き出せないと 考えるが見解を伺う。</p> <p>②有料化するとなぜゴミの排出抑制や再生利用の推進につながるのか。</p> <p>③有料化を始めなければ、ゴミの排出抑制や再生利用が進まないのか。</p> <p>④分別のしやすさなど減量への取り組みが十分に実施できる条件と、市民のゴミ 減量への意識の醸成がなければ、仮に有料化しても分別や減量は進まないと思える が見解を伺う。</p> <p>①ごみ収集事業において、以前は受益者負担の「手数料徴収」がなかったのはなぜ か。</p> <p>②所得の低い世帯や、紙おむつ、樹木などの枝・落ち葉など減らしにくいごみがあ る場合でも受益者負担の論理を当てはめるのか。費用負担に公平性を欠くのではな いか。</p> <p>③出すゴミの量に応じて手数料を払うという考え方のもとでは、減量の努力が負担 感の軽減に結びつかず、かえってゴミ減量の意欲を削ぐことにならないか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	浅井寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(5) 有料化検討の手續きについて</p> <p>(6) 有料化は見送るべき</p>	<p>①国の有料化方針は2005年に出ている。瀬戸市環境衛生審議会への有料化に関する諮問が2019年になったのはなぜか。また諮問から答申まで約2年経過しているが、どのような議論があったか伺う。</p> <p>②市民説明会の実施について、基本方針にも、実施計画にも計画決定以前の説明会は予定にはなかったが、開催となった経緯を伺う。</p> <p>③今回行った説明会の参加者数、主な意見など把握できている範囲で伺う。</p> <p>④3月の条例改正というスケジュールで市民理解が得られるのか。</p> <p>①減量への直接支援の方が、有料化より減量へのインセンティブになると考える。生ごみ処理容器、生ごみ処理機購入補助など直接支援を実施すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>②容器プラ分別開始から一定期間をゴミ減量強化期間などとし、まずは市民とともに減量に取り組むべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>③静岡県袋井市は、市民から「有料化の前に、まず分別を徹底するなどやるべきことがある」という意見が数多くあったとして、早期の有料化には十分な理解が得られないと、今年6月に発表していた来年4月からの有料化を見送った。瀬戸市も同様に、有料化を見送り、やるべきことをやる決断をすべきと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。